

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1	施設名	仙台市南小泉児童館
2	指定管理者	公益財団法人仙台ひと・まち交流財団
3	指定期間	平成29年4月1日から令和4年3月31日まで
4	施設の利用状況	《利用者数》 27,230人 (前年度比 99.2%) 平成29年度 27,456人 平成28年度 28,580人 平成27年度 27,217人
		《事業》 児童に健全な遊びを与え、その健康を増進し、情操を豊かにすることを目的とした児童厚生施設としての事業
5	収支の状況	《費用》 ・ 指定管理者に支払った費用 24,770千円 (27,241千円) ()は前年度決算額 ・ その他市が負担した費用 0千円 (0千円)
		《収入》 ・ 使用料収入 0千円 (0千円) ・ その他収入 0千円 (0千円)
6	利用者の声	《実施状況》 利用者アンケート、児童館運営懇談会、児童クラブ保護者懇談会を実施。

二 管理運営に係る評価

(モニタリングシートの結果によって評価)

評価分野	所見	評価
I 総則	「児童館ガイドライン」等に基づき、設置目的を踏まえた施設運営上の基本方針を定め、職員への共通理解を図るとともに、館内掲示等で利用者にも周知している。職員の倫理保持・服務規律遵守については、研修や会議、チェックシートで確認する取り組みを行っている。また、地域の特性やニーズを踏まえながら各事業に取り組み、施設目的の達成に努めている。	33/33
II 施設の運営管理体制	職員の配置や業務内容の共有、開館の実績、経理書類の作成、個人情報の保護等について適切な管理体制が構築されている。また、各種マニュアルの整備、施設内外の点検、毎月の避難訓練等の実施により、利用者の安全に留意した運営に取り組んでいる。	30/30
III 施設・設備の維持管理	日常的・定期的な点検や清掃により、建物・設備・外構等が適切に維持管理されている。備品や鍵の管理も適切に行われているほか、施設内外の巡回や仙台市環境行動計画に則った取り組みも実施されており、安全で快適な環境が保たれている。	23/23
IV サービスの質の向上	名札の着用、児童館だよりの発行、ホームページの更新による利用情報の提供等、利用者が利用しやすい環境づくりに努めている。また、各種研修会への参加を通して職員の専門性を高めているほか、意見箱の設置、アンケートの実施等で利用者のニーズを把握し、施設運営に生かすなど、サービスの質の向上に努めている。	28/28
V 施設固有の基準	「子ども遊び委員会」では、生活や遊びのルールについて子どもたちが話し合っ決めて場を設け、その主体的な生活や遊びを援助している。児童クラブの保護者組織の活動を支援し、保護者懇談会では親子レクリエーション行事を実施するほか、夏季休業中に個人面談の機会を設けるなど、保護者と相互に子どもの様子を伝え合える環境づくりに取り組み、家庭と連携した育成支援に努めている。	18/18

三 その他特に評価すべき優れた取組み

(指定管理者の優れた取組みを評価する 加点要素)

評価すべき取組み	評価すべき理由
加点評価	—

四 評価総括

《指定管理者（公益財団法人仙台ひと・まち交流財団）による自己評価》	
<p>当児童館の移転改築に伴い、南小泉児童館と名称を新たにスタートしてから1年半が経ちました。2階に乳幼児専用施設「のびすく若林」が新たに加わり、若林区の子育て拠点施設としての役割を果たすべく、今年度は更なる行事内容の充実を行ってまいりました。</p> <p>当館の特徴的な事業としては、昨年度より行っている市民センター利用者や小中高生との世代間・地域交流を目的とした「若中サマースクール・ウインタースクール」の開催があります。サマースクールでは、卓球サークルのシニアの方々と小学生による「ピンポンを楽しもう会」、ポッチャサークルとの「ポッチャにトライ!」、地域の染物屋さんによる「小学生染物教室」、近隣の小学校児童が参加する「オセロ若中杯夏の陣」などを開催しました。また、ウインタースクールでは、南小泉中学校 brass band による「クリスマスコンサート」、聖ウルスラ学院高等学校書道部による「一筆入魂」、夏に引き続き2回目の「ポッチャ大会」を開催しました。いずれも、小中学生が参加しやすい長期休業中に開催したため、毎回数十名近い小中学生と、地域の方々の参加がありました。</p> <p>その他、「子どもあそび委員会」を毎月開催し、自分たちで遊びのルール作りを行うなど、小学生の遊びにおける自律の育成を図ってきました。また、運動や合唱の楽しみと技量のスキルアップを目的とした「体育クラブ」「ミュージッククラブ」、日本の伝統文化を体験する「和んだーくらぶ」を設置しました。特に、小学生が運動に親しむ機会を設けるために、「体育館で遊ぼう」「スポチャレ」等の行事を隔週で実施し、多くの小学生がスポーツの楽しさを味わいました。</p> <p>乳幼児行事に関してもこれまで通りの行事数を確保しながら、同一施設の「のびすく若林」との情報共有を図りつつ、来館者にとってより親しみやすい施設運営を心掛けてまいりました。</p>	
《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>併設の「のびすく若林」と情報共有を図り、それぞれの施設が持つ機能を活かした運営に努め、家庭健康課と連携を密にしながら、地域の子育てを支援している。子育ての交流の拠点として、のびすくと共に年間を通して多くの親子に利用されている。</p> <p>子どもが参加しやすい長期休業中に、中高生や地域の方との連携・交流行事等を実施し、遊びや活動の内容を広げている。ハロウィン行事では小学生が図書館等各施設を巡るほか、社会福祉協議会での車椅子体験や、障害者スポーツ「ポッチャ」のような市民センター活動と連携するなど、複合施設である特性を生かしながら、多様な方との相互理解・交流を深めている。また、年2回開催の運営委員会は、広く地域に向けて児童館理解や連携を深める場と、学区内の子育て支援に関係する施設等が集い、より具体的な育成支援について共通認識を持つ場に分けて実施し、地域全体で健全育成を進める環境づくりに取り組んでいる。</p> <p>小学生を対象にした月2回の定例行事では、運動遊び、ゲーム、伝承遊び等を提供している。また、子どもの意見を反映した企画行事や、合唱、調理、和文化に触れる活動等を通して、子どもの体験を豊かにし、自主性、社会性、創造性等の向上に取り組んでおり評価できる。</p>	S

◎ 評価担当課（施設所管課）：子供未来局子供育成部児童クラブ事業推進室